

エリアウェーブ

峡東教育事務所 地域教育支援スタッフ Tel 0553-20-2731 Fax 0553-20-2733

主な記事・紹介校・団体

- ・笛吹PTA・蘆山小・岩手小・芦川保
- ・大瀬小・八代小・田川小・勝沼中
- ・祝小・春日居小・JA・甲州市生涯学習課
- ・松里中・すてっぷ・あつふる・笛吹高
- ・甲州青年会議所・各中学

市民が手をつなぎ、教育と文化を育む笛吹市



笛吹市 教育長 望月 栄一 氏

笛吹市 花鳥山展望台 リニアが見える丘

峡東3市教育長による連載・最終回は今年から就任された笛吹市の望月教育長です。

Q 笛吹市の教育の特色は

「どの子にも涼しく風の吹く日かな」

「笛吹市学校教育ビジョン」には、笛吹市の教育の原点を示すものとして上記の句が示されています。郷土の俳人飯田龍太先生の句です。この句から、どの子も一人の人間として認められ、学びを保障され、個性豊かに生き生きと輝くことのできる環境が与えられるべきとの思いが読み取れます。平成20年のビジョン策定時から、笛吹市の教育の原点として示されています。

本市における学校教育の特徴は、「生きてはたらく力」を身に付けた子どもの育成を目指し、(1)すべての子どもが楽しくわかる授業づくり、(2)民主的で心豊かな人間性を高める集団づくり、(3)学校・家庭・地域が一体となって進める地域・環境づくり、を3本の柱として教育実践を積み重ねてきた点にあります。

この貴重な財産を生かしながら、「生きてはたらく力」を身に付けた子どもの育成に、学校・家庭・地域・行政が一体となって取り組んでいます。

Q 今年度の重点課題は

笛吹市の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、自主学習の取組の推進を重点施策に位置づけています。これは、自宅での学習を手助けしてほしいという、保護者の皆様の声に応えるためのものです。

また、「笛吹市学校教育ビジョン」では、超スマート社会に対応した教育の実現のために、ICT環境の整備とそれらを活用した授業の充実を掲げています。

市では、令和2年度中に、すべての教室へ大型提示装置と教師用タブレットを整備します。同時に、GIGAスクール構想による一人一台端末とネットワーク環境も整備していきます。

このような背景から、「家庭学習に関する取組」と「ICT

を活用した授業づくり」を今年度の重点課題としました。

既存組織の「学力向上研究委員会」において、研究を推進していきます。具体的な実践事例など、研究の成果を発信し、各校の実践に繋げていきたいと考えます。

このように「家庭学習」と「ICTの活用」を柱として、総合戦略と教育ビジョンの具現化を目指しています。

Q 大切にしたい言葉は

「三智を磨く」です。長野県の大桑中学校には、「人の世には三智がある。学んで得る智、人と交わって得る智、みづからの体験によって得る智がそれである。」という、文豪島崎藤村の一文が刻まれた石碑があります。

学校教育のみならず、人が人として生きていくためには、この三智を磨いていくことが大切だと考えます。生涯に渡って大切にしていきたい言葉です。

Q 現場の教師に望むことは

現在、「教職の専門性」は、「省察的实践家」という概念で論じられています。教員の仕事は、複雑で刻々と変化する社会の中で、保育や授業、園児・児童・生徒の生活指導等、常に新しい問題に立ち向かわなければなりません。大学で学んだ理論、実践を現実の場面に適用するだけでは、対応しきれません。

教師には、「理論書や過去の事例を読み解き、教材研究を行い自らの学びを深め、さらに実践を振り返る」という「省察的实践家」を目指してほしいと思います。



昭和56年中道町立中道南小学校教諭として教壇に立つ。峡東教育事務所長、富士見小学校長を経て令和2年度から教育長。趣味はスポーツ観戦。62歳。

今年度の峡東3市の教育長による連載は大変好評でした。誠にありがとうございました。

人にやさしく ～with コロナ時代の社会教育学～

笛吹市PTA連合会

笛吹市PTA連合会では、いちのみや桃の里ふれあい文化館において、現 八代小PTA 会長でもある ライフクオリティマネージャー の ケイ コバヤシ 氏を講師に迎え「人にやさしく～with コロナ時代の社会教育学～」と題して研修会を行いました。講演の冒頭で「やさしさとは何か」という簡潔ながら無数の解釈を持つ問いが投げかけられ、「相手を想えばやさしさには短期的・長期的と種類があり、アプローチも変わる」「コロナショックがあったからこそ、人類が本来持っている、集まろうという気持ちが強まる」「保護者・教育者が子どもたちに一瞬でも笑顔になって欲しいと頑張り、その環境で育つ子どもが、やがて同じ環境を作る」など講師の実体験を交えたたくさんの言葉が聴いている方々の心に響き、深く考えることができました。この厳しい時代だからこそ、これまで以上に人と人の繋がりを大切に、思いやり支え合うことで自分自身の毎日の生活を明るく彩るきっかけとなって欲しいと思えるような講演でした。



音楽・宗教学・人類学など、多彩な切り口から、諸問題を抱える現代社会を生きるヒントが次々と示される



～自然災害から身を守ろう～

甲州市立菱山小学校



分かり易く工夫された画像資料

菱山小では4,5,6年生を対象に、山梨大学大学院の地域防災・マネジメント研究センター長である 鈴木 猛康 教授を講師に招き、「自然災害にそなえるまちづくり」に関する学習会を実施しました。児童たちは、自分たちが住んでいる菱山地区特有の災害リスクや防災対策について、真剣な表情で聴いていました。「自然災害から身を守ろう」という鈴木先生の言葉から、「自分の身近な災害について考えたい」「とても勉強になったので、これからの生活に活かしていきたい」といった感想がありました。地域防災の大切さを学びながら、郷土を守り、郷土を愛する心も再認識できたようです。



防災についての感想を話し合う児童



～水鉄砲を作って遊んだよ～

山梨市立岩手小学校・岩手老人クラブ

岩手小ではこれまで年5回、地元の老人クラブの方々と様々な世代間ふれあい活動を行ってきました。今年はコロナウイルスの影響で、ようやく実施できた最初のふれあい活動では、児童たちが 上野 照一 会長、荒井 武夫 事務局長さん方から、昔ながらの竹を材料とした水鉄砲の作り方とそのコツを教わりました。先生方やお年寄りの皆さんも含めて、参加した全員が他

人の手を借りることなく、しっかりと自分のものを自分自身で作っていました。児童たちは使い慣れないノコギリやドリルの使用に苦労したり、実際に水を飛ばしてみたら思ったようには飛ばず、微調整が必要だったり大変でしたが、その分、完成した水鉄砲は世代間のふれあいの思い出とともに、かけがえのない宝物になったことでしょう。



一緒に作った水鉄砲で遊ぶ、児童と老人クラブの方々



～地域の宝がひとつになって～ 笛吹市立芦川へき地保育所・芦川小学校

芦川地区では、例年参加してきた地区運動会が中止となったため、保育所と小学校が合同の運動会を実施しました。子どもたちは、見に来てくれた人たちを驚かせると同時に、楽しませる息の合った演技を次々と披露し、温かい声援を送られていました。園児と保護者が踊る遊戯に児童と保護者も飛び入りで参加するなど、地域の一体感が感じられた素晴らしい一日となりました。



児童との合同演奏に臨み、元気よく太鼓をたたく園児たち



1年生から6年生まで、息を合わせて一輪車を操る児童たち

地域住民との合同防災避難訓練

大藤小ではコミュニティースクール事業の一環で、運動会の防災競技として大藤地区との合同避難訓練を行いました。児童がいったん休憩で教室に戻ったところ



迅速に避難する児童たち

で、地震を想定したJアラートが鳴り響くと、地区の有価物回収の収益金で購入し、寄贈された防災ヘルメットを被った児童たちが一斉に校庭に避難しました。その様子を保護者・地区住民が参観しました。その後、保護者と一緒に各居住地区の区長の元に再集合し、顔合わせを行うなど、実際の災害時に必要なコミュニティの繋がりを再確認できる訓練が行われていました。

甲州市立大藤小学校



5つの地区ごとに保護者と整列し直し、代表区長の話を聴く児童たち

サッカー出前教室

笛吹市立八代小学校・高等支援学校桃花台学園

八代小では、「県立学校出前授業」制度を活用し、高等支援学校桃花台学園の教諭であり、普段から「山梨県知的障害者サッカークラブ・ヴァルカン甲府」の指導・監督もしている 久留 康裕 先生を講師に迎えてサッカー教室を行いました。体を動かすことが苦手だったり、集中が続かない児童に対しても、場面に応じた的確な声かけと、心はずむ音楽やゲーム性のある準備運動など、随所に積極的に取り組ませる工夫が見られました。参加した児童たちからは「とても楽しい、もっと（本格的に）続けてみたい」などの感想が聞かれ、それぞれが仲間たちと全身を使ってコミュニケーションを取りながら、楽しく汗を流していました。



サッカーを楽しむ児童たち

成長していく私たちのからだと心

山梨市健康増進課・日川小学校

山梨市健康増進課では毎年、小学校高学年を対象に思春期事業を行っています。今年度は市内の5校で実施され、日川小では、5,6年生が保健師の 佐々木さんから思春期のからだと心の変化について講義を受けました。児童たちにあえて医学的専門用語を使わせることで、恥ずかしがったり、ごまかしたりしがちな内容にも元氣良く拳手や発言をしながらしっかりと学べていました。事後アンケートではほとんどの児童が「自分を大切にするためにはどうしたらよいかよく分かった」と答え、「相談することの大切さがわかった」などの感想も多く、ひとりで悩まないで相談することの大切さを感じた児童が多くみられました。子どもの心と大人の心がぶつかる思春期に、自分のからだと心を守り、自分を大切、自分を好きと思う気持ちを育てることができた事業でした。



真剣な表情で聴く児童たち

鳥居焼きの護摩木積みと一斉点火 甲州市観光商工課・勝沼中学校



重い護摩木の束を急斜面に運び上げる生徒たち

勝沼中では今年度から全校生徒（希望者）が、「かつぬまぶどうまつり」で行う「鳥居焼き」の護摩木積み協力しています。「鳥居焼き」は「先祖を供養する気持ち」や「勝沼を築いた先人に感謝する気持ち」また「その年のぶどう・ワインの収穫の喜びと感謝する気持ち」を後世に伝えていきたい大切な心であり、勝沼地域住民の願いを込めた聖なる火でもあります。生徒たちは早朝から標高差100m近い急斜面を一列になって手渡して重い護摩木の束を運び上げ、鳥居の形を完成させました。また、まつり当日の夜には聖火隊として2、3年生の男子が142カ所の一斉点火を行いました。参加した生徒たちにとっても、長い歴史に支えられた地域の伝統行事を守り受け継ぐことに誇りを持てる貴重な体験となりました。



聖火隊と鳥居一斉点火

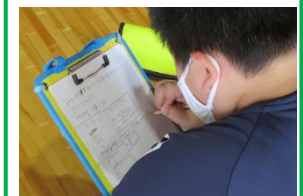


～山梨を食べよう～ JA フルーツ山梨・甲州市立祝小学校・笛吹市立春日居小学校



祝小学校の様子

JA フルーツ山梨では、管内の小学生を対象に地元の農産物を紹介し、地産地消を推奨する食育授業を行っています。今年は山梨市で2校、甲州市、笛吹市で1校ずつ、それぞれフルーツ教室と野菜教室が開催されました。児童たちは講師であるシニア野菜ソムリエの加藤さんから、時折クイズ形式で出題される農産物に関する様々な質問に楽しく答えながら、山梨県特有の地形、気候、地質、水質などが植物の成長に与える影響を学び、地元の野菜や果物がおいしく品質が高い理由を理解していました。また、食育教室の最後に農産物の試食やお土産のプレゼントに大喜びしていました。「とても勉強になったのでこれからの周りの人にも教えていきたい」といった感想が多く聞かれました。



春日居小学校の様子



甲州市アドベンチャークラブ

甲州市では希望する小学生を対象に、「防災デイキャンプ」や郷土の歴史や文化を学ぶ「史跡巡り」を実施しています。防災キャンプとは、いつ発生するかわからない災害に備えて、いざという時にスムーズに動けるように経験しておくものです。今年は小学校高学年が甲州中央防災広場、低学年が



史跡巡りの様子

勝沼中央公園で起震車や煙ハウスの体験をし、災害時に電気やガス、水道水がない状況でも落ち着いて行動できるよう、普段から意識や準備をしておく大切さを学びました。また、史跡巡りでは文化財課の萩原さんを講師として甲州市を代表する名刹である恵林寺と放光寺を訪れ、由緒ある建物や貴重な所蔵品を見学しながら、ふるさとの魅力を再発見していました。

甲州市教育委員会 生涯学習課

防災デイキャンプの様子



給水体験（高学年）



煙体験（低学年）

川邊先生と☆子育て座談会

NPO法人すてっぴ・あっぴる

NPO法人すてっぴ・あっぴるでは、10年ほど前から認定カウンセラーの川邊 修作 先生を迎えて子育て座談会を開催しています。今回のテーマは「親離れと赤ちゃん返り」。「赤ちゃん返りは、子どもが適応困難な問題に直面したとき、自分が何もできず、何もしないで良かった幼い頃に戻ることで、その問題を解決しようとしている姿と受け止めればよい」「子どもが甘えを求めてくる時に、甘えたい気持ちを満たしてあげることが何歳になっても大切」など参考になるお話を聞いた後、参加した0～2歳児を連れた母親たちからは、日々の子育てにおける悩みや質問が次々と出され、先生からの確かな助言や、子育てが楽しくなるヒントをいただいていた。個別相談形式ではなく、自由に発言しながら参加者全員で悩みや相談内容を共有することで、最適な解決策を模索し合うことができるよい機会となっていました。



幼い子どもたちと一緒に、和やかな雰囲気の参加者たち



恐怖疑似体験による交通安全教室

甲州市立松里中学校・JAグループ



スタントマンらによる、自転車の交通事故を再現した「スケアード・ストレート（恐怖の実感）」

今年度、日下部警察署より自転車安全利用推進校に指定された松里中において、JA共済、JA フルーツ山梨主催の疑似体験型の自転車交通安全教室が開催されました。生徒たちは、スタントとはいえ目の前で次々と再現される実際の衝突事故の激しい衝撃音や真に迫った悲鳴に息をのみ、自分たちにも起こり得る事故の恐ろしさを痛感していました。生徒たちからは「これからは充分過ぎるほど安全確認したい」「ルールもマナーも守りたい」といった感想が聞かれ、事故を防ぐため相手とのアイコンタクトの重要性を認識していました。



～郷土を愛し 未来を拓く～

山梨県教育委員会では、すべての小中学生が郷土への関心を深め、郷土を愛し、郷土に誇りを持つ心をもっと豊かに育むために、「ふるさと山梨郷土学習コンクール」を開催しています。第13回となる今年度の総応募数1036点のうち、優れた研究や実践事例の上位12名が表彰式に臨みました。峡東地区から、ふるさと山梨大賞（最高賞）に山梨市立日川小学校6年 山中 芽生子さんの「大川倉横結渠法・水の洗礼から学ぶ日川地区の水害について」が輝き、優秀賞（県2位相当）に加納岩小4年の 三澤 茜さん、後屋敷小5年の 岡村 隼さん、塩山中1年の 永田 大起さんも選ばれ、それぞれ表彰されました。また、学校奨励賞22校のうち半数ともなる、加納岩小・八幡小・塩山南小・勝沼小・石和西小・石和北小・塩山中・塩山北中・勝沼中・浅川中・春日居中の11校が峡東地区より表彰されました。

山梨県教育委員会



齊木 県教育長から表彰を受ける山中さん



ふれあいマルシェ笛吹

山梨県立笛吹高等学校



来場した親子連れと販売生徒ら

笛吹高校では毎年、秋の収穫祭である「ふれあいフェスタ笛吹」を開催してきました。今年は新型コロナウイルスの影響で中止も検討されましたが、果樹園芸科と食品化学科の生徒たちの強い希望もあり、マルシェ（市場型販売）のみの実施となりました。会場となった附属農場では、検温やソーシャルディスタンスなど十分な対策が行われていました。早朝7時の開始にも関わらず34人が来場され、心を込めて育てられた農作物や食品加工品などを大量に購入しながら生徒たちと交流を深めました。会場には生徒たちの明るく爽やかな接客の声や響き、何より大切な「おもてなしの心」を学ぶことのできる貴重な機会となっていました。

～甲州防災ハンドブックをご活用ください～

甲州青年会議所

甲州青年会議所では今年度、甲州市・甲州市社会福祉協議会と防災に関する協定を結びました。また、市民の防災・減災意識向上を目指した防災ハンドブックを作成し、市の教育委員会を通して甲州市内の全小中学校と塩山高校の生徒へ配布するとともに、甲州市役所をはじめ市内郵便局各所や商業施設などへ冊子の設置が行われました。また、甲州青年会議所のホームページでも子ども向けと一般向けの冊子活用の紹介動画が閲覧できます。



鈴木市長
に目録を
手渡す
宿澤
理事長

峡東地域中学校 新人体育大会

東山梨地区と笛吹市で、中学1・2年生チームの初めての公式戦となる新人体育大会が開催されました。午後は天気の急変もありましたが、各会場で熱戦が繰り広げられ、各種目の上位入賞校が県中学校新人大会への出場権を獲得しました。団体種目の優勝校は次のとおりです。

東山梨地区 優勝校

野球	Aパート	山梨北
	Bパート	塩山
サッカー		山梨北
バスケットボール	男子	塩山
	女子	山梨南
バレーボール	男子	塩山
	女子	山梨南
ソフトテニス(団体)	男子	山梨南
	女子	塩山
卓球(団体)	男子	山梨南
	女子	松里
剣道(団体)	男子	塩山北
	女子	塩山北
柔道(団体)	男子	塩山
ハンドボール	男子	松里
	女子	塩山
ソフトボール		塩山
バドミントン(個人)	男子	勝沼
	女子	勝沼



笛吹地区 優勝校

野球		浅川
サッカー		石和
バスケットボール	男子	一宮
	女子	御坂
バレーボール	男子	御坂
	女子	石和
ソフトテニス(団体)	男子	石和
	女子	浅川
卓球(団体)	男子	御坂
	女子	春日居
柔道(団体)	男子	御坂
	女子	御坂
弓道(団体)	男子	石和
	女子	石和
体操(個人)	女子	石和

峡東教育事務所からのお知らせ

※ エリアウェブに取り上げてもらいたいことを募集しています。共有したい情報や、教育事務所への要望などがありましたら、随時ご連絡ください。

カラー版をご覧ください

『エリアウェブ』はカラー版を峡東教育事務所のホームページに掲載中です。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、ホームページを開いて是非ご覧ください。

ホームページアドレス

<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/chiiki/areaweb.html>



エリアウェブ
ホームページ

ご意見をお寄せください

『エリアウェブ』のご意見・ご感想・取材情報をスタッフ一同お待ちしております。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールでご連絡いただくか、表紙上部の連絡先にご連絡ください。

E-mail アドレス

kyoiku-hym@pref.yamanashi.lq.jp



お問い合わせ